

# 対象別健康支援論

ナンバリング:N3-S2-K01

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、看護専門基礎講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

地域における親子・成人・高齢者の発達段階別、障害等の健康課題別の健康支援が行えるようになるために、保健活動に関わる法律や制度等の施策を理解し、対象となる個人や家族のライフステージを長期的に捉えながら、多様なニーズと顕在的・潜在的リスクに対する一次予防から三次予防の具体的な保健活動について学修する。その中で、多職種・多機関と連携した支援のあり方と看護職の役割についても学んでいく。

## ・教育成果(アウトカム)

対象別の保健活動の実際を学び、それぞれの保健活動の動向・理念を捉え、どのような施策・目的によって展開されているのか理解できる。また、対象者(家族も含め)の人生の長期的な視点に立って、身体的・精神的・社会経済的側面から対象者の特性を理解し、多様なニーズや顕在的・潜在的リスクに対する保健活動の展開方法を理解できる。また、多職種・多機関と連携した支援の必要性と看護職の役割について考えることができる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

## ・到達目標(SBO)

1. 発達段階各期の特徴や指標から動向および健康課題を説明できる。
2. 障害の特性や指標から動向および健康課題を説明できる。
3. 対象別の健康に関する法制度から事業の意義としくみを説明できる。
4. 対象別の保健活動の展開方法を説明できる。
5. 疾病・障害の一次予防から三次予防について、健康な時から(あるいは幼少期から)長期的な視点で捉え、本人・家族への支援を検討することができる。
6. 多職種・多機関による支援システムの概要を捉え、連携の必要性を説明できる。
7. 健康課題に関する政策について説明できる。

## ・授業日程

### 【講義】

会場：マルチメディア教室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 水 1限	<p>【授業内容】わが国の母子保健の現状と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健医療福祉の動向から健康課題を捉えられる</li> <li>・母子および親子の健康課題と支援を説明できる</li> <li>・乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援が説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、3、4、6、7</p> <p>【事前学修：90分】授業範囲の教科書の該当ページを読み、予習を行う</p> <p>【事後学修：120分】乳幼児期における標準的な成長・発達および健康課題を整理し、保健師の支援と保健指導の内容をまとめる</p>	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
4/8 水 2限	<p>【授業内容】親子保健活動の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のライフサイクル各期の健康課題と支援が説明できる</li> <li>・支援ニーズが高い対象の健康課題と支援が説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】4、5</p> <p>【事前学修：90分】授業範囲の教科書の該当ページを読み、予習を行う</p> <p>【事後学修：120分】妊娠・出産に伴う保健師活動、産後の生活と保健師の支援、子どもの虐待の予防・早期発見と支援の内容を整理する</p>	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教

4/14 火 4限	<p>【授業内容】成人の健康課題 ・生活習慣病(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)、メタボリックシンドロームの動向を理解し、診断基準、治療を説明できる 【関連するSBO】1、3、4 【事前学修:90分】2年生で履修した「疾病論Ⅰ」の生活習慣病に関する内容を復習する 【事後学修:120分】生活習慣病とメタボリックシンドロームの病態生理と診断基準をまとめる</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
4/20 月 3限	<p>【授業内容】成人期の健康課題と保健活動 ・成人保健に関わる法制度を説明できる ・成人期のライフステージに応じた健康課題と支援を説明できる ・成人期における疾患の予防と支援について説明できる 【関連するSBO】1、3、4、5、7 【事前学修:90分】授業範囲の教科書の該当ページを読み、予習を行う 【事後学修:120分】成人期における疾患の予防と保健師の支援を整理する</p>	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
4/20 月 4限	<p>【授業内容】高齢者の健康課題と保健活動 ・高齢者保健の動向から健康課題を捉えることができる ・高齢者保健に関わる法制度を説明できる ・成人期からの介護予防の必要性について説明できる ・認知症をもつ人々への健康支援について説明できる 【関連するSBO】1、3、5、7 【事前学修:90分】国民衛生の動向第3編第2章「老人保健」、第5編第1章「介護保険」を読み、認知症施策の変遷、介護保険サービス利用の手続きとサービス等の種類を復習する 【事後学修:120分】高齢者の健康課題と保健活動の要点をまとめる</p>	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
4/24 金 4限	<p>【授業内容】高齢者の健康課題と支援 ・高齢者訪問の意義を説明できる ・高齢者の生活を重視したアセスメント方法を説明できる ・高齢者の健康と生活における支援方法を説明できる 【関連するSBO】4、6 【事前学修:90分】標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動第3章B「高齢者の健康課題と支援」を読む 【事後学修:120分】家庭訪問による高齢者支援の要点をまとめる</p>	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
5/25 月 3限	<p>【授業内容】精神保健対策における健康課題と保健活動 ・精神保健の動向から健康課題と対策(法律・施策)について説明できる ・アディクションや引きこもり等、個人・家族・グループ・組織等包括的な支援の進め方が理解できる ・自殺予防対策のハイリスクアプローチ・ポピュレーションアプローチが説明できる 【関連するSBO】2、3、4、5、6、7 【事前学修:90分】国民衛生の動向第3編第2章「精神保健」を読み、精神保健対策の変遷、精神保健福祉法による医療体制について復習する 【事後学修:120分】自殺予防対策の要点をまとめる</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
5/25 月 4限	<p>【授業内容】健康相談演習(ロールプレイ) ・地域の健康相談に来所した母子、成人、高齢者に対して必要な保健指導を実施できる 【関連するSBO】5、6 【事前学修:150分】グループに割り当てた来所者からの健康に関する質問に対して、説明できるように調べる 【事後学修:120分】ロールプレイを振り返り、良かった点と改善点をまとめ提出する</p>	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	国民衛生の動向2025/2026(『厚生指標』臨時増刊第72巻第9号)	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2025
教	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第5版	中谷芳美 他	医学書院	2024
参	公衆衛生看護学.jp 第6版 データ更新版	鳩野洋子 他 編	インターメディカル	2026
参	公衆衛生がみえる2026-2027 第7版	医療情報科学研究所	メディックメディア	2026

・成績評価方法

【総括的評価】

定期試験80%、提出課題20%により評価する。

【形成的評価】

各回の講義において、振り返りシート提出を求め、学修の成果を確認する。

適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
3・5・7・8	1～7		80					80
5	5・6			20				20
合計		0	80	20	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。
- ・レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。
- ・試験のあとは、WebClassに必要な解説を掲載する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師(別表1): 公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論  
 看護師(別表3): 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師、地域における看護職の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義時資料投影
演習	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義用資料投影